

県内20市における森ゆうこ、中原八一票の比較

自治体名	森ゆうこ		中原八一		得票差 ①-②
	得票数①	得票率	得票数②	得票率	
新潟市	177,906	48.8	179,395	49.2	-1,489
長岡市	68,636	50.3	64,940	47.6	3,696
上越市	50,546	53.4	42,433	44.8	8,113
三条市	24,648	48.1	25,379	49.5	-731
柏崎市	22,364	48.9	22,117	48.4	247
新発田市	23,452	49.4	22,909	48.3	543
小千谷市	10,882	52.1	9,476	45.3	1,406
加茂市	7,978	52.9	6,712	44.5	1,266
十日町市	14,771	45.4	17,131	52.7	-2,360
見附市	10,902	50.7	10,128	47.1	774
村上市	15,681	46.5	17,391	51.5	-1,710
燕市	19,702	48.1	20,265	49.5	-563
糸魚川市	11,562	45.2	13,537	52.9	-1,975
妙高市	8,649	49.5	8,414	48.2	235
五泉市	13,390	51.0	12,307	46.9	1,083
阿賀野市	10,162	45.8	11,113	50.1	-951
佐渡市	14,726	46.3	16,289	51.2	-1,563
魚沼市	10,672	48.7	10,703	48.8	-31
南魚沼市	15,552	49.1	15,413	48.6	139
胎内市	7,363	46.0	8,247	51.5	-884
県全体	560,429	49.0	558,150	48.8	2,279

比例代表の得票数

	今回	前回
	2016年	2013年
上越市	7,190	6,019
妙高市	1,043	928
糸魚川市	1,865	1,692
上越地区計	10,098	8,639
全県計	89,086	77,964

合の今後のあり方について言及し、「消防事務組合のホームページには議会情報がほとんど載っていない。いま議会などでなことが審議されているかなどの情報を市民に知らせるべきだ。検討してほしい」と訴えています。伊藤公雄消防長は、「速やかに検討する」と約束していました。

ホームページに掲載されたのは7月5日です。まさに速やかな対応でした。



今回の参議院選挙で日本共産党は改選議席3を6議席へと伸ばすことができました。また、野党共闘でたかった11の選挙区で勝利することができました。この結果は憲法改悪などに反対し、平和と国民の暮らしを守るためにかえを進めたい。今後、安倍内閣による改憲の動きを許さず、平和と民主主義、国民の暮らしを守るために全力を尽くします」とのべていました。

私は森ゆうこの上越事務所を開票状況を見守りました。テレビの速報でも、上越でも改選議席を倍にすることができました。上越でも大健闘でした。日本共産党と森ゆうこにご支援くださった市民の皆さんに心から御礼申し上げます。今後、安倍内閣による改憲の動きを許さず、平和と民主主義、国民の暮らしを守るために全力を尽くします」とのべていました。

改憲許さず、公約実現にむけ全力尽くします
森ゆうこ、野党共闘で勝利。日本共産党、改選議席を倍増

今回の参議院選挙で日本共産党は改選議席3を6議席へと伸ばすことができました。また、野党共闘でたかった11の選挙区で勝利することができました。この結果は憲法改悪などに反対し、平和と国民の暮らしを守るためにかえを進めたい。今後、安倍内閣による改憲の動きを許さず、平和と民主主義、国民の暮らしを守るために全力を尽くします」とのべていました。



【モウセンゴケ】モウセンゴケ科の植物。コケと呼ばれてはいますが、種子植物です。漢字で「毛氈苔」と書きます。独特の形をした葉からはネバネバした物質を出し、それで虫を捕まえることも。花は白です。

報では、森候補と中原候補の大接戦が続き、自分の選挙以上にドキドキしました。でも、最後に接戦を制して当選が決まったときは最高うれしかったですね。

写真は森ゆうこの当選が決まった瞬間、席を立てて拍手で喜びを表す市民連合@上越の代表、馬場秀幸弁護士などです。

消防事務組合のホームページに

組合議会の情報も掲載

上越地域消防事務組合のホームページ（HP）に組合議会情報がこのほど掲載されました。私の記憶では初めてかと思えます。今回掲載されたのは先月29日に開催された上越地域消防事務組合議会及び全員協議会の様子です。この日の全員協議会で、私は同消防組合の今後のあり方について言及し、「消防事務組合のホームページには議会情報がほとんど載っていない。いま議会などでなことが審議されているかなどの情報を市民に知らせるべきだ。検討してほしい」と訴えています。伊藤公雄消防長は、「速やかに検討する」と約束していました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1765 2016.7.17
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四一三回

家畜車

Hさんは今年八〇歳になります。いまは一線から退いています。長年にわたり家畜商をしてきました。わが家との付き合いは四〇年以上も前から続いています。わが家では「直江津のお父さん」と呼んでいます。先日、そのHさんを訪ねてきました。

電話をかける、Hさんはわざわざ市道のところまで出て、私を待っていてくださいました。背は少し丸くなりかけていましたが、きつぷのいいところは昔も今も変わりありません。「まあ、入りやいいこて」そう言われ、居間に上げさせてもらいました。

居間に入って挨拶をしてから一分も経たないうちに、Hさんはこれまで私がまったく知らなかったことを話しはじめました。何十年も前の家畜商のことや自分がやってきた仕事についてです。私が「四〇年くれえ前の話かね」と言うと、「なして、五〇年以上も前の話さ」と言つて、話を続けました。

その話というのは貨車を使った牛の運送のことです。運ぶのは生きた牛ですから、貨車といっても、専用の家畜車です。いまのようにトラックが本格的に普及する前のこと、直江津駅を起点にして牛を東京や関西の家畜市場に持ち込み、商売をやっていた人たちがこの上越にもいたんですね。Hさんを含め、頸城や柿崎などで活躍していた何人かの家畜商が手を組んでこの家畜車を使った商いをやっていたのです。

Hさんは若い頃、この家畜車に乗って牛たちの世話をした人たちの一人でした。牛の大きさにもよりますが、一両の家畜車には二十数頭の牛たちを乗せることができました。牛たちを家畜車に乗せるのは、現在のトラックに乗せるやり方に比べれば、高低差が小さいこともあって、そう難しいとは思えません。問題は家畜車に乗せてからです。ガタゴトガタゴトと長時間揺らして、牛たちを無事に目的地まで運ぶのはたいへんな仕事であることが、話を聞いてわかりました。

「いまのように東京へ一時間半や二時間で行かれる時代じゃないだろ。芝浦までなら一日、吹田までなら、ともすりや、二日もかかる」Hさんは、数十年も前のことを一つひとつ思い出すようにして語りました。

家畜車の中では、最初は一頭一頭、綱でしばっていたのでしようか、一頭倒れでもしようなものなら大騒ぎになる。それで、牛たちはつながらないで運ぶことにしたことでした。でも、つながらないで運ぶとなれば、脱走の心配はないのだろうか、餌をくれるときなど面倒なことが起きないだろうかと考えてしまいます。何よりも世話をする人の居場所をどう確保するのかと思いました。

なるほどと思つたのは、世話をする人のためにハンモックを用意したという話です。そう、家畜車の床にはなく、空中に人間の居場所を確保したのであります。考えたものですね。ハンモックに入つて、時どき牛たちに声をかけているHさんの姿が目には浮かびました。

こうした家畜車は戦後二〇年くらいまで動いていたようです。Hさんの昔話を聞いたおかげで、鉄道が人間だけでなく、動物たちを含めたすべてのものを運搬するための最有力な輸送手段であった時代があったことを改めて確認できました。

私は乳牛を飼いはじめたとき、吉川町酪農組合（当時）の総会か何かのときに、旭地区に初めて乳牛を導入した頃の話をお聞きしました。その際、確か、直江津から牛を歩かせてきたという話を聞いた記憶が残っています。Hさんの話を聞いて、「直江津から」というのは「直江津駅から」だったのではないかと思われました。今度、確かめます。

「ほたるのこおどり」のリズムに心うきうき



た。音楽文化などによる地域づくりの可能性について考えさせられました。

その後、篠笛と和太鼓のユニット、「朋郎」や八丈島太鼓の演奏、小島さんの踊りなどをたっぷり楽しみました。

そして最後は飯田邸の前庭で披露された「ほたるのこおどり」です。小島さんと大潟区の太鼓グループ「海音鼓」などの協力のもとに大島小学校の子どもたちがつくったというこの踊り、最高に盛り上がりました。2月の「灯の回廊」時の「あさひ雪あそび」で観たときのおどりに感動しましたが、ほたるの季節でのおどりはバージョンアップされていて、一段といい感じになっていました。一緒に踊りだしたくなります。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月6日(水)	7月13日(水)
上越南消防署	0.043	0.050
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.057	0.063
高士分遣所	0.043	0.047
名立分遣所	0.053	0.057

大島区菖蒲の飯田邸でこのほど、太鼓や踊りなどの公演が行われ、区内外から100人を超える人たちが集まりました。

公演の前に大島区出身で八丈島在住の内山江差夫文化協会会長や鼓童名誉団員の小島千絵子さん、村上市などで頑張っている晩翠堂音楽会の長尾景友さん、八丈島太鼓演奏者によるトークがありました。



【オカトラノオ】 サクラソウ科の多年草。花言葉は「清純な恋」。牧区泉にて15日撮影。泉集落では8月14日(日)午後5時半から「棚田の稲ほたる祭」が行われます。夜の棚田に「稲ほたる」が輝き、ソロシンガー、蘭燃(らんねん)の美しい歌が生で流れます。今年こそ参加してみたいです。